

競技上の注意・諸連絡

第22回全国中学選抜卓球大会
審判長 今野 啓

本大会は2020年6月1日改定・実施の日本卓球ルールとガイドライン「日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策」およびプログラムに掲載された大会要項・競技上の注意、開催地主管団体からの諸連絡事項に基づいて行います。

競技者はスポーツマンシップに則り、ルールを遵守し、立派なマナーのもとに正々堂々と競技を行ってください。

1. 試合方法について

- ・団体戦は5シングルの5人制で行います。
- ・各ゲーム後及びファイナルゲーム中のチェンジエンドはどちらも行いません。
- ・第1ステージ（リーグ戦方式）・第2ステージ（トーナメント戦方式）で行います。
- ・第1ステージは、1グループ4チーム計12グループ（男女で24グループ）によるリーグ戦を行います。
- ・第2ステージは、各グループ1位による1位トーナメントにより優勝を決定します。3位決定戦は行いません。また、各グループ2位以下の決勝トーナメントは行いません。
- ・第1ステージは、11ポイント3ゲームマッチで行います。5番まですべてのマッチを行い、全マッチを得失点に加算して順位を決めます。
- ・第2ステージは、11ポイント5ゲームマッチの3点先取法で行います。
- ・団体戦のベンチに入ることができるのは、その中学校に在籍し登録している生徒（選手5～6名）および監督1名（監督は教員でなく外部指導者でもよいが日本卓球協会へ役員として登録済であること）だけです。

2. ボール、ラバー、ラケット等について

- ・ボールは日本卓球協会公認の「白色スリースター」40mmプラスチックボールを使用します。
- ・ボールはコート担当者（大会1日目）または審判員（大会2日目）がコートへ持っていったものの中から選んで使用して下さい。対戦者で使用球について希望するメーカーが違う場合、ジャンケンで決定します。試合中に破損等でボールを交換する必要がある場合は、同じメーカーのボールと交換します。
- ・ラバーは、JTTAまたはITTFが公認したことを示すロゴがなければ使用できません。
- ・外国製ラケットでJTTAの公認マークのないものを使用する場合は、あらかじめ試合前に審判長の許可を受けてください。

3. ラバーの貼り替えについて

- ・ラバーを貼り替える必要があるときは日本卓球協会が公認した接着剤で、指定された場所で貼り替えてください。
- ・その場合、競技の進行に支障をきたさないよう十分に注意してください。

4. 競技用服装について

- ・競技用服装（シャツ、ショーツ、スカート）はJTTA公認マークのついているものを着用し、同じ服装での対戦を避けるため競技者は色の異なった2種類以上の服装を用意してください。
- ・団体戦に出場するチームの全競技者は、靴及び靴下を除いて同じ服装で競技してください。
- ・ゼッケンは、2020年度JTTA指定の在籍している中学校名入りのものを使用してください。

5. プレーの継続性について

- ・ マッチ中、プレーは継続されなければなりません。プレーとプレーの間は時間をとらないよう気をつけてください。間合いをとりすぎるとバッドマナーとして扱います。
- ・ 汗を拭くためのタオルの使用は、各ゲームの開始から6ポイントごとに許可されます。

6. 抗議、アドバイス、タイムアウトについて

- ・ 団体戦の抗議は、問題が生じたチームの監督のみが行うことができます。主審または副審による事実の判定に対しては抗議することはできません。
- ・ 競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間にのみアドバイスを受けることができますが、練習時間終了時とマッチ開始の間はアドバイスを受けることができません。
- ・ 競技者または監督は、1マッチにおいて1分以内のタイムアウトを1回要求することができます。

7. オーダー提出とタイムテーブルについて

- ・ 第1ステージのオーダー交換は両チームがコートに整列した時点で行ってください。
- ・ 第2ステージのオーダー交換はオーダー交換所で行います。
- ・ いったん提出したオーダーは変更できません。
- ・ タイムテーブルの時刻は競技開始時刻とします。競技の進行の状況により、タイムテーブルが変更になる場合もあります。複数台を使用して行う場合があります。あらかじめご了承ください。

8. 促進ルールについて

- ・ ゲーム開始後10分を経過しても終了しない場合に適用されます。ただし、両方の競技者のポイントスコアの合計が少なくとも18ポイントに達している場合には適用されません。
- ・ 両方の競技者からの要求があれば、いつでも促進ルールが適用されます。
- ・ 促進ルールが適用された場合、そのマッチの残りのゲームは促進ルールで行われます。

9. マッチ開始直前の練習等について

- ・ マッチ開始直前に2分間を限度としてそのマッチで使用するテーブルで練習できますが、正規の休憩時間には練習できません。